

受 験 番 号					

氏 名	

2024年度
放送大学大学院修士課程
文化科学研究科 文化科学専攻
社会経営科学プログラム
筆記試験問題

試験日：2023年9月30日（土）

試験時間：9時30分～11時30分

注意事項

1. 試験開始の合図があるまで、この試験問題冊子は開かないでください。
2. 解答には、黒鉛筆かシャープペンシルを使用してください。
3. 配付されるものは、「試験問題冊子1冊」、「解答用紙5枚」及び「下書き用紙5枚」です。追加配付はしません。
4. 試験開始の合図の後、試験問題冊子を確認してください。試験問題冊子は、表紙、白紙、問題（4ページ）の順に綴じられています。試験問題冊子、解答用紙及び下書き用紙に落丁・過不足のある場合、あるいは印刷が不鮮明な場合には、手を挙げて試験監督員の指示に従ってください。
5. 試験問題冊子の所定欄に、受験番号及び氏名を記入してください。
6. 解答用紙は、「大問題（試験問題冊子に第1問、第2問…と表示されています。）」ごとに使用し、解答用紙の所定欄に、プログラム名、氏名、受験番号並びに「大問題」番号及び「大問題」ごとに何枚目であるかを、解答用紙別に必ず記入してください。
小問題及び選択問題を解答する際の番号等は、解答用紙のマス目の左側の「小問題番号等記入スペース」に記入してください。
なお、問題文中に別途記入方法の指示がある場合はそちらに従ってください。
7. 解答用紙1枚につき、800字まで記入することができます。解答用紙5枚のうち、社会経営科学プログラムは2枚以内で解答してください。指定された字数に従って解答してください。
8. 試験問題冊子、解答用紙及び下書き用紙を綴じているホチキス針をはずしたり、中身を破り取ったりしてはいけません。
9. 試験問題冊子、解答用紙及び下書き用紙は試験終了後に回収します。試験問題冊子及び下書き用紙に解答を記入しても採点の対象にはなりませんので、必ず解答用紙に解答を記入してください。
10. 試験時間は2時間です。試験開始後40分を経過した後は、試験問題冊子、解答用紙及び下書き用紙を試験監督員に提出した上で、退室してもかまいません。ただし、試験終了5分前以降は退室できません。

社会経営科学プログラム 筆記試験問題

第1問と第2問の両方に解答しなさい。なお、第1問と第2問の解答にはそれぞれ別の解答用紙を使用し、解答用紙の所定欄に問題番号を記入すること。

第1問 「社会的凝集性」に関する次の英文を読んで、以下の問(1)、(2)に答えなさい。

Social cohesion is a complex concept that has become popular recently as shorthand for the strength of human relationships and the stability of a more differentiated society. Put simply, it relates to how well people and communities get on together for the benefit of all through such values as tolerance and mutual support. Lack of cohesion may be reflected in a weak social fabric, with the relationships between different groups being exclusive, impermeable and susceptible to tension and conflict. People may be kept apart through fear, resentment, competition for scarce resources, or protection of privilege. Social cohesion is sometimes used casually as a label for social success or stable race relations, without any pretence of understanding what lies behind this.

Cities are particularly significant for the cohesion of societies because of the unique size, density and diversity of their populations, as well as their distinctive challenges of poverty and social exclusion. Cities and neighbourhoods are also key spatial units for social relationships and interactions — whether positive or negative — because they dominate the everyday patterns of living and behaviour for much of the population. Lack of engagement between groups in cities can take a highly visible spatial form in residential segregation, whether by race, religion, income or some other social attribute, although one should not read spatial patterns too directly off the underlying social processes.

Social cohesion is clearly a multi-faceted notion and potentially very wide ranging. The social relations and interactions between different groups, communities and institutions can take many different forms and manifest themselves in all sorts of outcomes. They may range from violent disorder, at one extreme, to intense social mixing and integration, at the other. This is simply one of the more tangible dimensions. There are other aspects of the notion of cohesion associated with people's identity, common experience, shared values, trust and respect for each other, as well as support for (public) institutions that can find common cause and promote collective action.

Considering the issues of spatial scale and social unit adds to the complexity, since a social system that is cohesive at one level may not be when considered at a larger or smaller scale. This is highly pertinent to the distinctions between city and neighbourhood, and to the way in which a social group or community is defined. For instance, tolerance and cohesion between different ethnic communities can obscure conflicts within them (eg between young and old, men and women, rich and poor). Highly cohesive neighbourhoods may give rise to a divided or fractured city if they involve segmentation, exclusion and discrimination.

(出典 : Department for Communities and Local Government (UK), 2006, *State of the English Cities: Social Cohesion*, p. 21. 引用にあたり一部を省略した。)

問（1）「社会的凝集性」という概念のごく一般的な意味や用法について、英文にもとづいて、日本語で要約しなさい。（400字以内）

問（2）都市や近隣に「社会的凝集性」がもたらす効果や、その肯定的側面と否定的側面について、英文にもとづいて、日本語で述べなさい。（400字以内）

第2問 以下に列挙する(1)～(7)の分野のうち、研究指導を希望する分野を一つ選んで、その分野の問題に解答しなさい。なお、選択した問題番号を解答用紙の「小問題番号等記入スペース」に明記すること。

(1) [政治学分野]

デモクラシーと立憲主義の関係について論じなさい。(800字以内)

(2) [法学分野]

次の①、②から一つ選び、解答しなさい。

①消滅時効と除斥期間の趣旨およびその違いにつき論じた上で、次に掲げる権利が服する期間制限、性質(消滅時効か除斥期間か)およびその問題点について法的根拠を示し、論じなさい。(合わせて800字以内)

- (a) 不法行為に基づく損害賠償請求権
- (b) 債務不履行に基づく損害賠償請求権
- (c) 取消権

②データ・人工知能(AI)利活用における法的問題とその対応について説明しなさい。(800字以内)

(3) [国際関係分野]

G7サミットの役割について、歴史的な経緯もふまえて説明しなさい(説明に際しては、首脳会合以外についても触れることが望ましい)。(800字以内)

(4) [建築分野]

住宅の省エネルギーを実現させるために有効と思われる建築的な設計上の工夫を数種類列挙しながら説明しなさい。(800字以内)

(5) [経済学分野]

次の①、②から一つ選び、解答しなさい。

- ①社会経済学分野で(a)あなたが探究したいテーマは何か、(b)あなたはどのような方法で文献を探るか、(c)現在重要と考えている既存の文献は何か(重視する理由も書く)、以上3点につき述べなさい。(合わせて800字以内)
- ②経済思想ないし環境思想に関して、あなたが修士論文で研究したい具体的テーマ(題目)を示したうえで、(a)テーマの選定理由と学問的重要性、(b)中心的な検討対象となると考える文献・資料や先行研究、(c)研究の目的(どんなことを明らかにしようとしているか)を、論理的に述べなさい。(合わせて800字以内)

(6) [社会・コミュニティ分野]

次の①、②から一つ選び、解答しなさい。

- ①バージェスの同心円地帯理論(同心円地帯モデル)について知るところを述べなさい。(800字以内)
- ②次に挙げる(a)～(d)の用語についてそれぞれ説明しなさい。(合わせて800字以内)
- (a) 都市化と郊外化
 - (b) 新国際分業
 - (c) インフォーマル・セクター
 - (d) 標本調査

(7) [経営学分野]

次の①～④から一つ選び、解答しなさい。

- ①60歳以上の雇用について、経営管理上の有効な工夫と課題について論じなさい。(800字以内)
- ②サービス・ドミナント・ロジックの基本的前提について、それと対照的な考え方と比較しながら説明し、実際の適用事例を一つ挙げなさい。(800字以内)
- ③国内外における食料価格の高騰によるマイナスの面とプラスの面を、それぞれ論じなさい。(合わせて800字以内)
- ④日本企業の「統合報告書」における記載事項の近年の傾向について述べ、そこから企業の情報開示戦略について何が読み取れるか説明しなさい。(800字以内)

以上